

東京都に対する質問書

2004.2.19 栗林勝彦

(この質問書は前回のP I 外環沿線協議会で質問した要旨を認めたものです。)

東京全体の現在の稼働自動車交通量がどのくらいあって、それはどのくらいの交通渋滞を起こしているのか。東京全体の道路面積と自動車交通量はどんな関係になっているのか。「東京の道路交通事情」によれば、平成12年までの都内の自動車交通量は激増とは言えません。また、環状8号線と外環の間には216と217の都市計画道路があります。このような事情も踏まえた上で、自動車交通量に対する適正道路面積はどのくらいかという指標を都は持っていますか。

TDMを支える都市基盤として、3環状の整備と公共交通への利用転換をうたっています。

イ、3環状の相関関係を、将来交通量、及び予測交通量の点で、どのように見えますか。

ロ、並行する公共交通機関(既設の鉄道、及びエイトライナー)との相関関係をどのように見えますか。

東京都が取り組む三本の柱として、ディーゼル車NO作戦、自動車使用に関する東京ルール、TDMが挙げられています。これらは環境浄化のためにSp mやNOxの削減を目的としています。そこで、その政策実行にあたっての数値目標を明らかにしてください。

外環の世田谷部分は景観基本軸に指定されています。これは環境の質的保全を目的としていて、見掛けの総量を維持することではありません。そこで、アセスメントの評価に於ての環境保全に関する実証的な基準を明確にしてください。

平成9年に都が発表した「外環に関する調査報告書」をどのように位置づけていますか。